



校長室から

「日常の中の『冒険』」

校長 林田 誠一

ある男子生徒が意図せず口にした「話を聞いてなかった」という言葉。「人の話を聞いてない」と「7・5」のリズムに整え、「これに5音の季語をくっつけば俳句になる」と教えてくださったのは俳人の夏井いつき先生です。12月11日にふれあいセンターで行われた平戸高校同窓会講演会「句会ライブ」で、「取り合わせ」という俳句の作り方の基本を覚えてもらった時の一コマです。会場の声をまとめながら、最終的にできあがった俳句は「クリスマス人の話を聞いてない」でした。

「俳句の種」は日常生活のいたるところに落ちている。その種を見つけることができれば、だれでも俳句を作ることができる。それが季語の力であり、俳句の「型」の力です。

12月4日の朝日新聞「折々のことば」の欄に、冒険家である角幡唯介さんの言葉が載っていました。「冒険の現場というのは概ね退屈で、冒

険に行くだけでは面白い文章が書けないことが多い」。過酷をきわめる北極探検も「雪の上を歩いた。寒かった。飯を食った。寝た。」の繰り返しであると。

そうであるならば、日々の生活の中から「俳句の種」を見つけ、それを自分なりの17音にまとめていくことは、北極探検にも匹敵する冒険なのではないか、と思ったりもします。

講演の中で夏井先生は「俳句に書いていけないものなんてない」「くだらないことでも俳句の種になる。くだらないことほど他の人にならぬ面白いものになることがある」と言われました。

俳句という窓を通して周りを見回せば、くだらないと思うようなことでも、全く違ったものとして立ち上がってくることもある。それを17音にまとめることは、言葉の力で世界を作り変えるということに他なりません。これは日常の中の「冒険」とも言えるのではないのでしょうか。

同窓会講演会「句会ライブ」

12月11日（月）、ふれあいセンターにて句会ライブを行いました。講師は、テレビ「プレバト!!」に出演されている俳人・夏井いつき先生です。句会ライブとは、全員で参加して楽しめる新しい句会です。ライブ前半では、俳句の取り合わせについて学び、前半の最後、5分程度で1人1句を作成しました。後半では、作成した俳句の中から夏井先生が7句選び、その後、会場の多数決により順位を決定しました。本校生徒や近隣の中学生、一般保護者あわせて400名近くが参加し、夏井先生のトークを楽しみながら俳句を作る楽しさを実感しました。予定の2時間があっという間に感じ、大盛況に終わりました。



2年修学旅行

12月5日(火)～8日(金)、2年生は東京方面へ修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、有意義な4日間を過ごすことができました。系列別研修では、東京証券取引所やパナソニックセンター、JICA地球ひろばへ訪問しました。普段できないような体験をしたり、世界で活躍する方の話を聞いたことでものの見方や考え方が広がったようです。たくさんのお土産とともに、全員無事に帰ってきました。



1日目	浅草寺散策、浅草演芸場
2日目	都内班別自主研修
3日目	系列別研修、ディズニーランド
4日目	東京スカイツリー



プロジェクト中間報告会

12月13日(水)午後、公開研究授業とプロジェクトの中間報告会が行われました。3年人文系列の生物の授業を見学後、授業研究を行い、その後、今年度取り組んでいる「書くことを核とするプロジェクト」の報告会を行いました。次回の公開授業研究会は、平成30年1月24日です。



1年よかと講座

12月12日(火)、19日(火)に1年生の「産業社会と人間」の授業の一環として、「よかと講座」を開きました。平戸で活躍する方や本校卒業生をお招きし、1年生に向けて、平戸で仕事をする事の喜びや今までの苦勞などを話していただきました。

宮田 浩 様 日高 吉春 様 真辺 由麻 様
貴重なお話をありがとうございました。



1年地域清掃

12月1日(金)、1年生がロングホームルームの時間に学校周辺の清掃を行いました。



1月の主な行事

- 9日(火) 3学期始業式
- 17日(水) 2年公務員模試
- 19日(金) 3年学年末考査時間割発表
1年ジョブガイダンス③
- 20日(土) 1年対外実力試験
2年対外実力試験(～21日)
- 21日(日) 全商情報処理検定
- 24日(水) 公開授業研究会
- 26日(金) 3年学年末考査(～31日)

校内マラソン大会 平成30年2月1日(木)

総合学科発表会 平成30年2月8日(木)